

Wellness Port YOKOHAMA ～第3期健康横浜21いざ出航～（実施報告）

横浜市と横浜市立大学の共催による「第3期健康横浜21」のキックオフイベントを開催しましたので報告します。

このイベントは、横浜市立大学学生有志が発案・企画し、健康横浜21の関係機関・団体が運営に協力することで、来場者に「市民の行動目標」を「楽しく学ぶ」機会を提供しました。

1 イベント概要

内容	■ステージ企画 ①挨拶（副市長/横浜市立大学学長） ②パネルディスカッション ③運動企画 ■測定・体験ブース 「健康横浜21」関係機関・団体を中心とした出展（11団体） ■駅構内企画 みなとみらい線 みなとみらい駅・馬車道駅での健康クイズラリー ■献血
対象者	一般市民
日時	令和6年8月8日（木） 11時～16時
場所	市庁舎1階 アトリウム、みなとみらい線 みなとみらい駅・馬車道駅
広報	■横浜市：記者発表、ホームページ、LINE、X、YCAN（庁内イントラネット） チラシ/ポスターの印刷、区役所での配架、ほか ■横浜市立大学：特設ホームページの開設、イメージ動画の作成、Instagram、 チラシ/ポスターの作成および大学内での配架、ほか
協力団体	横浜高速鉄道株式会社（駅構内会場貸出など）

当日の会場の様子



2 参加者数

ステージ企画（着席者）	ブース企画（体験者）	献血	合計
325	1,552	27	1,904

3 感想

来場者	・初めて血管年齢を測った。健康を意識するきっかけになった。 ・10年前より骨密度が下がっていた。家族にも測定させたい。 ・偏食気味の我が子が栄養のブースに参加した後、栄養バランスを意識した食事を選ぶようになった。 ・姿勢には気を付けていたが、ゆがんでいると言われて驚いた。体操しようと思う。 ・建物を工夫することでヒートショックが防げるとは、新しい知識だった。
従事者	・世代や組織を超えて『横浜市民の健康』に向けて活動している方々の多さやパワーを感じて刺激になった。

4 総括

・本市の健康づくりを担う関係機関・団体が多数ブース出展し、パネルディスカッション等にも御登壇いただいたことで、「第3期健康横浜21」のキックオフにふさわしいイベントとなった。

・学生が企画・立案・運営したことにより、柔軟なアイデアを活かしたイベント企画となり、若年層の参加にもつながった。

・本イベントを通して、学生や本市としても大変貴重な経験をすることができ、また、「学生、行政、関係機関・団体」がともに取り組むことで一体感が生まれ、第3期健康横浜21を推進する新たな活力が生まれた。

5 参考

（1）イベント特設ホームページ

https://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~p_health/wpy/



（2）ステージ企画のYou-Tube 配信

https://www.youtube.com/live/xEXUPaKcz_c

※イベント当日のステージ企画の様子がご覧になれます。



（3）メディア掲載実績

日付	メディア名	タイトル
令和6年8月6日	Yahoo!JAPAN	市民の「健康」への気づきへ。「横浜市の医大生ら」による8月8日開催「健康イベント」とは
令和6年8月9日	神奈川新聞社	調剤体験に夢中 1日限りの健康テーマパーク 横浜市立大の学生有志が企画

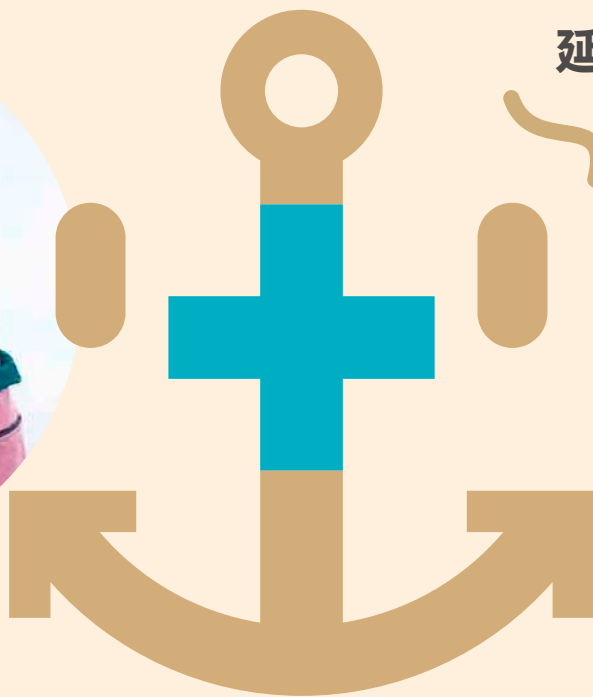


健康横浜21



YCU
横浜市立大学

考えよう、健康。
延ばそう、健康寿命。



Wellness Port YOKOHAMA

～第3期健康横浜21いざ出航～

健康を身近に感じることができるパネルディスカッション・
体を動かすステージ企画、測定・体験、献血ブースが横浜市役所に勢ぞろい！
健康クイズラリー「わたしの健康謎解き」を同時開催！

2024.8.8_{THU} 11:00-16:00

横浜市庁舎1Fアトリウム／オンライン参加可能

【共催】横浜市、横浜市立大学 【企画運営】横浜市立大学学生有志（代表：医学部医学科 菱田真衣花）

【事務局】横浜市健康福祉局健康推進課、横浜市立大学公衆衛生学教室 【運営協力】第3期健康横浜21関係機関・団体、
横浜市立大学 COI-NEXT「若者の生きづらさを解消し高いウェルビーイングを実現するメタケアシティ共創拠点」

お問い合わせ 横浜市健康福祉局健康推進課 Tel. 045-671-2454 横浜市立大学公衆衛生学教室 Tel. 045-787-2610

特設サイト



CONTENTS

コンテンツ

第3期健康横浜21の
横浜市民の主要な健康課題に対応して
ステージ企画や測定・体験ブースを実施します！
献血や周辺駅からの健康クイズラリーも！！

ブース

ブース	出展内容	健康課題	出展団体名
A	姿勢チェック／握力測定／立ち上がりテスト	7	横浜市スポーツ協会
B	ゲームやメタバースで心とからだをサポート	10	横浜国立大学 COI-NEXT「若者の生きづらさを解消し高いウェルビーイングを実現するメタケアシティ共創拠点」
C	血管年齢測定	1	横浜市保健活動推進委員会
D	肌年齢測定／調剤体験	5	横浜市薬剤師会
E	野菜摂取量チェック／料理カード	1,4	神奈川県栄養士会／横浜市食生活等改善推進員協議会
F	禁煙に関するパネル展示／肺年齢測定	5	禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川県会議

横浜市民の主要な健康課題

生活習慣病の予防を通じた
早世の減少

男性の肥満や
脂質異常症の改善

女性の乳がんの
死亡率の減少

糖尿病の
重症化の予防

喫煙・
受動喫煙の減少

歯周炎の
予防と改善

腰痛の
予防と改善

骨折・転倒により
介護が必要な状態
となることの減少

高齢期の
不慮の事故による
死亡率の減少

成人期・壮年期の
メンタルヘルス
の向上

ステージ企画

11:00	OPENING	14:15-14:30	今日から始める！座ってエクササイズ
11:20-12:00	TALK 01「集え、新星。一次世代が繋げる健康会議ー」	14:40-15:40	TALK 03「健康を決めるチカラ：ヘルスリテラシーとは!?」
12:00-12:15	今日から始める！座ってエクササイズ	16:00	CLOSING
12:20-13:20	TALK 02「現代社会を生き抜く女性の健康戦略」		

〔パネルディスカッション登壇者〕

TALK 01	伊藤呼春さん	横浜国立大学国際商学部国際商学科3年 / 若者のメンタルヘルスとSNSの調査を実施
	伊谷野友里愛さん	横浜国立大学医学部医学科4年 / 小児がん等の子ども達に「幸福のウィッグ」を届ける団体 Hair for Children 代表
	手島朝香さん	横浜国立大学データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻1年 / 公衆衛生学の研究に従事
	菱田真衣花さん	横浜国立大学医学部医学科4年 / ヘルスケアイノベーターの出発点を創造する一社 ZEROGATE を運営 / 本イベント代表
TALK 02	宮城悦子氏	横浜国立大学副学長 / 横浜国立大学産婦人科学教室主任教授
	重見大介氏	(株) Kids Public 産婦人科オンライン代表 / 産婦人科専門医 / 公衆衛生学修士 / 医学博士
	平野翔大氏	(株) 明治 統括産業医 / 産婦人科医 / 医療ジャーナリスト
TALK 03	水谷隆史氏	医療法人社団南永田診療所 院長 / 一社 横浜市医師会 常任理事 / 健康横浜21 推進会議会長
	井上祥氏	(株) メディカルノート代表取締役・共同創業者 / 医師・医学博士 / 大阪大学招へい准教授
	西井正造氏	横浜国立大学 先端医学科学研究センター コミュニケーション・デザイン・センター助教
	後藤温氏	横浜国立大学 公衆衛生学教室教授

会場マップ

アトリウムの隣、
市民協働推進センター
にて、献血 実施！

〈市民協働推進センター〉

ACCESS

横浜市中区本町6-50-10 横浜役所1Fアトリウム

- みなとみらい線「馬車道駅」下車、1C出口直結
- JR「桜木町駅」新南口（市役所口）から徒歩3分
- 市営地下鉄「桜木町駅」「1口」から徒歩3分

〈アトリウム〉

令和 6 年度歯科口腔保健推進検討部会の開催状況について

1 第 1 回

(1) 開催日時

令和 6 年 6 月 14 日（金）19 時～21 時

(2) 議事

横浜市歯科口腔保健推進計画の推進について

ア 計画に基づく取組予定について

イ 周知方法について

＜主な意見＞

- ・ 今後、取組における団体間の連携状況も把握していけると良い。
- ・ 健康の分野でも各区の多職種連携を進めていければと思う。
- ・ 何の取組がどのような成果をあげたか検証できるような仕組みが必要。

(3) 報告

ア 第 3 期健康横浜 2 1 の評価基準の考え方について

イ 令和 6 年度「歯と口の健康週間」中央行事について

2 第 2 回

(1) 開催日時

令和 7 年 2 月 14 日（水）19 時～21 時

(2) 議事

第 3 期健康横浜 2 1 の中間成果「歯周炎の予防と改善」に関する取組と成果の論理構造について

＜主な意見＞

- ・ ロジックモデルを用いた整理は、何が不足しているか見えやすくなるため良い。
- ・ アウトプット指標が情報収集力の高い人への取組に偏りがちである。
- ・ ハイリスク層が取り残されないよう、知恵を出し合いながら計画を進めるべき。

(3) 報告

ア 令和 5 年度 健康に関する市民意識調査 調査結果について

イ 横浜市歯科口腔保健推進計画の周知について

ウ 令和 6 年度 障害児・者に向けた歯科口腔保健に関する取組について

エ 令和 6 年度 青年期に向けた歯科口腔保健に関する取組について

食育推進検討部会の開催状況及び食環境づくりに関する取組について

1 令和6年度食育推進検討部会の開催状況について

(1) 令和6年度第1回食育推進検討部会

日時 令和6年7月23日(火) 18時30分～20時30分

議事 (1) 第3期健康横浜21及び横浜市食育推進計画(第3期)について

(2) 横浜市食育推進計画(第3期)の目標に関連する取組について

報告 ハマの元気ごはん弁当の販売について

(2) 令和6年度第2回食育推進検討部会

日時 令和6年11月19日(火曜日) 18時30分～20時30分

報告 (1) ハマの元気ごはん提供店登録制度について

(2) 「Wellness Port YOKOHAMA～第3期健康横浜21いざ出航～」について

議事

(1) 横浜市食育推進計画(第3期)指標⑰ 目標値の設定について

食育推進検討部会で以下の通り目標値を設定した。

目標	指標	直近値	目標値
目標8 健康への関心の有無にかかわらず、誰もが栄養バランスのよい食事を選択できる食環境を整える	⑰栄養バランスのよい食事を選択できる環境づくりに資する取組を行っている店舗数	64 店舗 (R6(2024)年度)	145 店舗以上 (R14(2032)年度)

【目標値算出根拠】

ハマの元気ごはん提供店登録制度開始時点の登録数とスーパーの市内店舗数を踏まえて、登録店舗数を年間10店舗ずつ増加させることを目標とする。

64 店舗(ベースライン値) + (10 店舗×8年) = 144 (約145 店舗)

2 ハマの元気ごはん提供店登録制度について

令和6年10月1日から、「ハマの元気ごはん提供店登録制度」を開始しました。

本制度は、外食や市販のお弁当を利用する市民の皆さまが、より健康になるために、横浜市が定めた栄養バランスのよい1食の栄養価の基準を満たした食事「ハマの元気ごはん」を提供する店舗の登録制度です。

本制度の運用を通じて、「ハマの元気ごはん」を提供する飲食店やスーパー等が増えることで、市民の皆様が自然と栄養バランスのよい食事を選べる環境を整えていきます。

あなたのお店が
横浜市民の健康を応援！



ハマの元気ごはん提供店



登録店舗大募集！

ハマの元気ごはん提供店とは？

外食や市販のお弁当を利用する市民の皆さまが、より健康になるために、
栄養バランスのよい1食の栄養価の基準を満たした食事（セットメニューや弁当）を
提供する店舗を登録する制度です。

登録の流れ

1 登録するメニューの決定

「ハマの元気ごはん」の基準のどのサイズ・タイプに該当するか確認し、メニューを決定。

計算方法がわからない場合

区福祉保健センター福祉保健課にご相談ください。
(裏面参照)

2 登録申込み

登録申込書（様式は横浜市ホームページに掲載）に記入し、
お店の所在地がある区福祉保健センター福祉保健課へ提出。

もしくは

横浜市電子申請システムでも
申込みできます ▶



横浜市
ホームページ



3 PR用ロゴマーク受取

受付後、PR用ロゴマークのデータを受け取ります。

店頭でのPR等に活用してください。

PR



登録タイプとPR用ロゴマーク

登録タイプの詳細は裏面で確認！

R（レギュラー）タイプ

R-A



R-B



R-C



L（ラージ）タイプ

L-A



L-B



L-C



登録にあたっての 留意事項

- * 登録したメニュー（弁当等）を継続的に提供していることが必要です。
期間限定でなく、営業日は毎日提供されている必要がありますが、昼の時間帯のみや土日を除いた平日のみの提供でも、登録対象になります。
- * 1食またはセットメニューでハマの元気ごはんの基準を満たした食事が対象です。ピュッフェ形式での提供は、対象外です。
- * 日替わり定食（弁当等）の場合の登録申請書類について
日替わりでは5メニュー、週もしくは月替わりの場合は4メニューを、登録時に提出してください。

ハマの元気ごはん R (レギュラー)

栄養
バランスを
考えて

「ちゃんと」食べたい
一般女性やご高齢の方向け

ハマの元気ごはん L (ラージ)

栄養
バランスを
考えて

「しっかり」食べたい男性や
身体活動量の高い女性の方向け

ハマの元気ごはん R (レギュラー) 基準

		タイプ		
		A	B	C
エネルギー	450～650kcal 未満	●	●	●
主食	ごはん 150～180g	●	●	●
主菜 (肉・魚・卵・大豆製品)	必ず入れてください。量の基準はありません。	●	●	●
副菜 (野菜・いも・きのこ・海藻・こんにゃく)	140g 以上	●	●	
	70g 以上			●
脂質エネルギー比	20～30%	●		
食塩相当量	3.0g 未満	●		

ハマの元気ごはん L (ラージ) 基準

		タイプ		
		A	B	C
エネルギー	650～850kcal	●	●	●
主食	ごはん 150～200g	●	●	●
主菜 (肉・魚・卵・大豆製品)	必ず入れてください。量の基準はありません。	●	●	●
副菜 (野菜・いも・きのこ・海藻・こんにゃく)	140g 以上	●	●	
	70g 以上			●
脂質エネルギー比	20～30%	●		
食塩相当量	3.5g 未満	●		

留意事項

- * 副菜の重量は、野菜・いも類・きのこ類・海藻類・こんにゃくの使用量の合計とします。
- * 主食がごはん以外の場合は、炭水化物エネルギー比が50～65%の範囲に入ることが要件とします。
- * B及びCの基準においても、食塩相当量は、R(レギュラー)は3.0g未満、L(ラージ)は3.5g未満に近づけることが望ましいです。

登録申込・お問合せ先

区	住所	電話番号	FAX	区	住所	電話番号	FAX
青葉区	青葉区市ケ尾町 31-4	978-2441	978-2419	瀬谷区	瀬谷区二ツ橋町 190	367-5746	365-5718
旭区	旭区鶴ヶ峰 1-4-12	954-6146	953-7713	都筑区	都筑区茅ヶ崎中央 32-1	948-2350	948-2354
泉区	泉区和泉中央北 5-1-1	800-2445	800-2516	鶴見区	鶴見区鶴見中央 3-20-1	510-1827	510-1792
磯子区	磯子区磯子 3-5-1	750-2446	750-2547	戸塚区	戸塚区戸塚町 16-17	866-8426	865-3963
神奈川区	神奈川区広台太田町 3-8	411-7138	316-7877	中区	中区日本大通 35	224-8332	224-8157
金沢区	金沢区泥亀 2-9-1	788-7840	784-4600	西区	西区中央 1-5-10	320-8439	324-3703
港南区	港南区港南 4-2-10	847-8438	846-5981	保土ケ谷区	保土ケ谷区川辺町 2-9	334-6344	333-6309
港北区	港北区大豆戸町 26-1	540-2362	540-2368	緑区	緑区寺山町 118	930-2357	930-2355
栄区	栄区桂町 303-19	894-6964	895-1759	南区	南区浦舟町 2-33	341-1185	341-1189

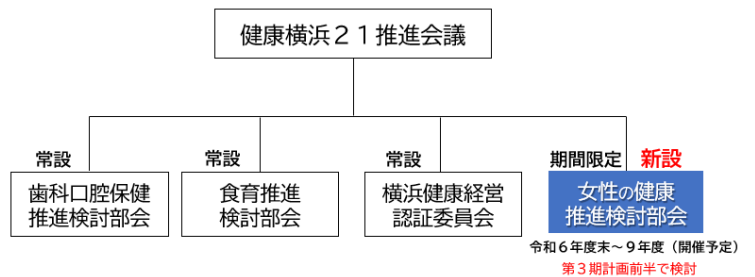
女性の健康づくり推進検討部会の設置について

1 女性の健康づくり推進検討部会の設置の背景について

第3期健康横浜21では、女性の健康寿命の伸びが鈍化していることを受け、計画期間の前半の重点推進取組である「よこはま健康アクション[R06-R11]」に、「女性の健康づくり応援」を位置づけ力を入れていきます。

取組の検討・推進にあたっては、女性の健康に関わる様々な団体の皆さまと共に、最新の知見を踏まえた取組内容や効果的な啓発手法について、当事者の視点や専門的見地から議論する必要があるため、

「健康横浜21推進会議」の部会として、新たに「女性の健康づくり推進検討部会」を設置しました。



2 女性の健康づくり推進検討部会について

(1) 部会での検討事項

- ・女性の生涯にわたる総合的な健康づくりに必要な具体的な取組（思春期から壮年期）
- ・若い世代（思春期から20歳代）の女性に伝わる効果的な情報発信手法
- ・市内中小企業における取組
- ・横浜市の女性特有の健康課題の把握・分析方法
- ・取組の効果検証方法

(2) 委員

健康横浜21推進会議委員

医療専門職：産婦人科医、助産師

当事者：大学生・働き世代の女性

中小企業経営者

教育関係者：市PTA連絡協議会理事

学識：ヘルスデータ分析、医療情報メディア分野

医療保険関連団体：協会けんぽ神奈川支部

横浜市女性の健康づくり応援 ロゴマーク



3 令和6年度 第1回女性の健康づくり推進検討部会の開催について

日時 令和7年3月18日（火曜日）19時00分～21時00分

議事 第3期健康横浜21における女性の健康づくり推進について

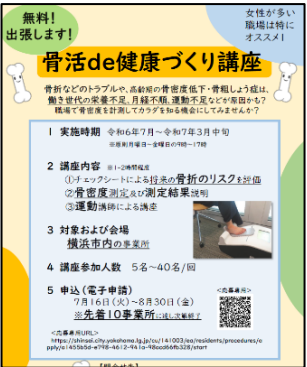
- (1) 横浜市の女性の健康に関する現状・課題および推進について
- (2) 女性の健康づくり推進検討部会の検討事項について

4 令和6年度 女性の健康づくり応援事業の取組について

(1) 出張骨密度測定「骨活de健康づくり講座」の実施

横浜市内の事業所へ出張し、骨粗鬆症予防を目的として、定量的超音波測定法による踵骨の骨密度測定や、運動や食生活のアドバイスを行う健康づくり講座を実施しました。

【実績】10 事業所 236 人



(2) 女性の健康づくり応援セミナー「骨の健康・排尿トラブル」の開催

女性の健康に関する知見を豊富に有する大塚製薬（市民の健康増進等に係る包括的連携に関する協定を締結）等と連携し、50 歳代前後の女性を主な対象としたセミナーを開催しました。

【実績】10 月 1 日～11 月 15 日 YouTube にて配信 視聴無料
視聴申込者：564 人



(3) 「健康横浜21」公式 Instagram を利用した啓発

女性の健康週間（3/1～3/8）に合わせ、女性特有の健康課題に関する動画（各1分程度）を公式 Instagram で、順次、配信しています。女性自身や周囲の人が、健康課題に気づくことで、早めの相談・受診につながるような機会としています。

配信日	対象の年代	内容
3/5(水)	思春期	生理の悩み
3/10(月)	20-30代	子宮頸がんとは？
3/12(水)	40-50代	更年期症状とは？
3/14(金)	思春期	痩せすぎていることでの影響とは？



(4) 庁内関係課長会議の設置

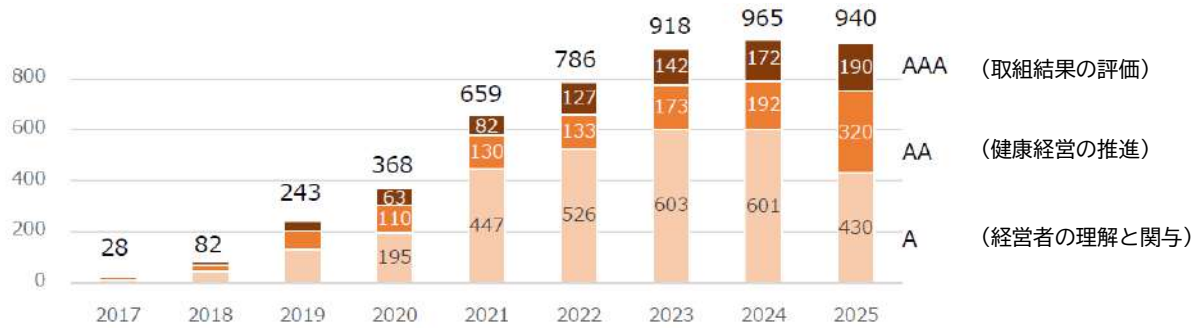
主に思春期～更年期の女性の健康に関わる関係課の情報共有や課題の検討を行うことを目的とし、庁内関係課長会議の場を設置しました。庁内連携を深めると共に、それぞれの部署で実施する女性の健康に関する取組を検討する機会とします。

令和6年度における健康経営の推進について

横浜健康経営認証 2025 の認証状況、今年度実施した見直しの内容及び民間事業者と連携した健康経営推進の取組について報告いたします。

1 横浜健康経営認証 2025 の認証状況

409 事業所から御応募があり、新規 146 を含む 409 事業所を認証しました。令和 7 年 4 月 1 日時点の認証事業所は 940 事業所となりました。



2 横浜健康経営認証制度の見直し

令和 6 年度第 1 回健康横浜 2 1 推進会議にて承認された内容を踏まえ、認証事業所に対するメリット（ICT を活用した禁煙チャレンジに対する補助）の追加、応募用紙への「女性の健康づくり応援」・「腰痛予防」・「骨折・転倒予防」に関する項目の追加、クラス A 及び A A に係る提出書類の軽減、認証期間の延長（初回応募 2 年間、再応募 4 年間）を行いました。

3 民間事業者と連携した健康経営推進の取組

(1) 協定締結企業・団体と連携した取組

協定締結企業・団体と連携し、セミナーの開催や横浜健康経営認証の P R、応募支援を行いました。

協定締結企業・団体	令和 6 年度の主な取組
アクサ生命保険株式会社	・募集案内の配布、申請サポート、推進支援
大塚製薬株式会社首都圏第二支店	・健康経営に関するセミナー（6/21） ・募集案内の配布
神奈川銀行	募集案内の配布
住友生命保険相互会社横浜支社	募集案内の配布、申請サポート
全国健康保険協会神奈川支部	健康保険委員研修会の健康教育動画提供
第一生命保険株式会社	募集案内の配布
日本生命保険相互会社	・健康経営に関するセミナー（9/30） ・募集案内の配布
明治安田生命保険相互会社	募集案内の配布、申請サポート、推進支援
横浜信用金庫	募集案内の配布

(2) 健康経営支援拠点と連携した取組

市内に 3 か所ある健康経営支援拠点（※ 1）と連携し、健康経営に関するセミナーを開催しました。

健康経営支援拠点	設置運営事業者	実施日 （※ 2）	回数
新横浜ウエルネスセンター	バイオコミュニケーションズ株式会社	6/21	1 回
LINKAI 横浜金沢ウエルネスセンター	公益財団法人神奈川県予防医学協会	8/28	1 回
横浜駅ウエルネスセンター	株式会社ウエルアップ	7/11 9/12	2 回

（※ 1）企業集積地において、近隣企業等を対象とした健康経営の普及促進を目的として設置

（※ 2）横浜健康経営認証の取得に関する説明会の実施日

横浜健康経営認証 2025

新規 146 を含む 409 事業所の認証を決定しました



～市内の 940 事業所が横浜健康経営認証事業所に～

横浜市では、従業員等の健康保持・増進の取組が、企業の収益性を高める投資であると捉え、従業員の健康づくりを経営的な視点から戦略的に実践する「健康経営」を推進しており、健康経営に取り組む市内事業所を「横浜健康経営認証」事業所として認証しています。

今回の認証結果をふまえ、令和 7 年 4 月 1 日時点で横浜健康経営認証を有する事業所は、940 事業所となりました。

※「健康経営」は、特定非営利活動法人 健康経営研究会の登録商標です。

認証事業所数とクラス別認証数

今回認証された 409 事業所（事業所数の推移 1 頁、事業所一覧 4 頁～）の内訳

【新規・再認証別内訳】

新規 : 146
再認証 : 263

【クラス別内訳】

クラス A A A : 50
クラス A A : 199
クラス A : 160

健康経営の効果

健康経営に何らかの効果を感じている事業所は 84.1%で、「健康状態の改善」「健康リテラシーの改善・向上」「イメージアップ」が多くなっています（2 頁）。

また、クラス A A A 事業所における「運動習慣」「喫煙率」について、取組前後の変化が表れています（3 頁）。

「横浜健康経営認証」制度概要

対 象 事 業 所

市内事業所（市内に本社・本店、支社・支店、営業所等を有する事業所）であること

認 証 期 間

- 応募が初めて事業所：令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの **2 年間**
- 応募が 2 回目以降の事業所：令和 7 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日までの **4 年間**

認 証 区 分 及 び 事 業 所 の 取 組 と 評 価 の 視 点

【クラス A A A】 取組結果の評価

クラス A A の要件を満たし、さらに健康課題に即した取組の結果を評価し、次の取組につなげているもの

【クラス A A】 健康経営の推進

クラス A の要件を満たし、さらに健康経営の推進体制の整備、従業員の健康課題の把握及び健康課題に即した取組を行っているもの

【クラス A】 経営者の理解と関与

健康経営宣言等の明文化及びその意思を具現化した取組を行っているもの

裏面あり

お問合せ先

健康福祉局健康推進課長	岩松 美樹	Tel 045-671-3376
経済局中小企業振興課長	松本 圭市	Tel 045-671-2575

・横浜経済記者クラブへも同時発表しています。



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



・データでみる「横浜健康経営認証」・ ①認証事業所の概要

四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合があります。

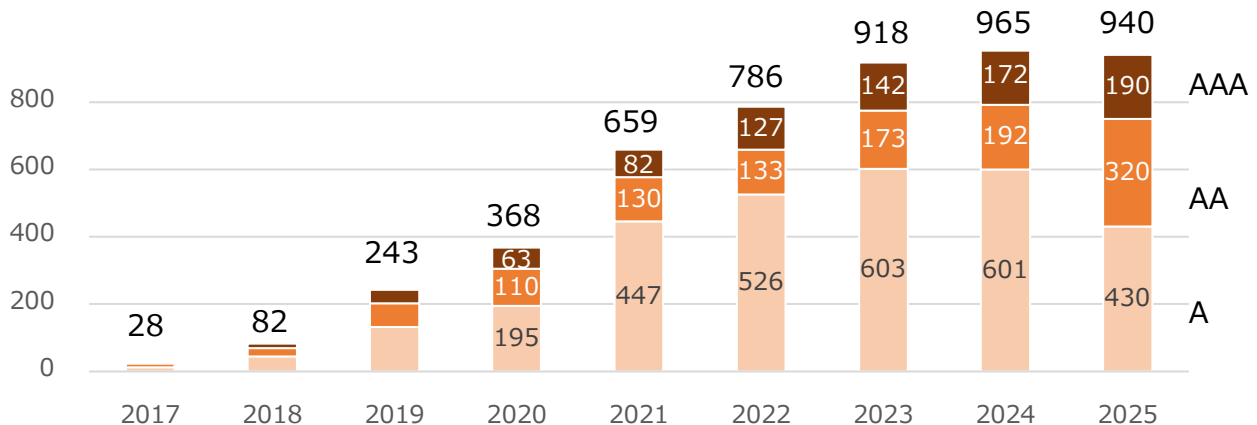
1 認証事業所数及び応募事業所数の推移

今回の応募事業所数と認証事業所数はともに409となっています。

年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
応募	34	63	202	202	323	511	414	557	409	
認証	28	57	199	200	323	510	414	557	AAA	50
									AA	199
									A	160

2 認証期間中の事業所数の推移

令和7年（2025年）4月1日時点で認証を受けている事業所数は940事業所となります。



3 今回の認証事業所の企業規模と従業員数

認証事業所の83.4%が中小企業です。従業員数は合計で4万名を超えています。

企業規模	事業所数		常時使用する従業員		常時使用する従業員 以外の従業員数		従業員数合計	
大企業	55	13.4%	20,954	59.3%	3,327	65.2%	24,281	60.0%
中小企業	341	83.4%	13,759	38.9%	1,542	30.2%	15,301	37.8%
その他	13	3.2%	629	1.8%	236	4.6%	865	2.1%
計	409	100.0%	35,342	100.0%	5,105	100.0%	40,447	100.0%

4 今回の認証事業所の業種

業種別にみると、建設業（35%）が最も多く、製造業（11%）、医療・福祉、サービス業（他に分類されないもの）、卸売業・小売業の上位5業種で、全体の72%の割合となっています。

業種	事業所数	%	業種	事業所数	%	業種	事業所数	%
建設業	143	35.0%	学術研究、専門・技術サービス業	19	4.6%	教育、学習支援業	5	1.2%
製造業	43	10.5%	情報通信業	17	4.2%	生活関連サービス業、娯楽業	5	1.2%
医療、福祉	39	9.5%	不動産業、物品賃貸業	12	2.9%	宿泊業飲食サービス業	4	1.0%
サービス業（他に分類されないもの）	35	8.6%	金融業、保険業	8	2.0%	複合サービス事業	1	0.2%
卸売業、小売業	33	8.1%	その他（分類不能の産業）	7	1.7%	農業・林業	1	0.2%
運輸業、郵便業	32	7.8%	電気・ガス・熱供給・水道業	5	1.2%	合計	409	100.0%

・データでみる「横浜健康経営認証」・②認証事業所における取組の効果

四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合があります。

5 従業員の健康の保持・増進のために大切だと思うこと

「横浜健康経営認証2025」応募時アンケートにおいて「従業員の健康の保持・増進のために大切だと思うこと」は、「社内のコミュニケーション」「健康情報の提供」「健康診断結果の把握」の順に多くなっています。

項目（複数回答）	事業所数	%	項目（複数回答）	事業所数	%
社内のコミュニケーション	269	65.8%	環境整備（施設面・制度面）	223	54.5%
健康情報の提供	266	65.0%	労働衛生関連の法令遵守	157	38.4%
健康診断結果の把握	265	64.8%	金銭的投資	106	25.9%
経営者からの発信	249	60.9%	回答者数計	409	100.0%

6 従業員の健康が経営に与える影響について

同アンケートにおいて、「従業員の体調不良、病気が経営に影響していると感じたこと」が「ある」と回答した事業所が86%となっています。内訳として「欠勤」「生産効率の低下」が多くなっています。

経営への影響	事業所数	%					
ない	56	13.7%	ある場合の内訳 (複数回答) ※353を100%として算出	欠勤	生産効率の低下	離職	事故やケガ
ある	353	86.3%		212	207	143	121
回答者計	409	100.0%		60.1%	58.6%	40.5%	34.3%

7 健康経営に期待する効果と感じている効果

同アンケートにおいて、『健康経営に期待する効果』は、「事業所のイメージアップ」「従業員の健康状態の改善」「モチベーション・働きがいの向上」の順に多くなっています。一方で、『健康経営に感じている効果』は、「従業員の健康状態の改善」「健康リテラシーの改善・向上」「事業所のイメージアップ」の順に多くなっており、何らかの効果を感じている事業所は84%となっています。

期待する効果	イメージアップ	健康状態の改善	モチベーション・働きがいの向上	健康リテラシーの改善・向上	採用への好影響	欠勤や生産性の改善	雰囲気・一体感の向上	離職率の改善	労働災害の減少	契約や受注等の向上	まだない	回答者数計
事業所数	278	258	228	224	210	188	180	131	119	71		409
(複数回答)	68.0%	63.1%	55.7%	54.8%	51.3%	46.0%	44.0%	32.0%	29.1%	17.4%		100.0%

感じている効果	健康状態の改善	健康リテラシーの改善・向上	イメージアップ	雰囲気・一体感の向上	モチベーション・働きがいの向上	採用への好影響	欠勤や生産性の改善	離職率の改善	労働災害の減少	契約や受注等の向上	まだない※	回答者数計
事業所数	170	166	153	140	116	80	76	49	45	36	65	409
(複数回答)	41.6%	40.6%	37.4%	34.2%	28.4%	19.6%	18.6%	12.0%	11.0%	8.8%	15.9%	100.0%
何らかの効果を感じている事業所										計	344 84.1%	

※「まだ効果を感じていない」と回答した65事業所については、その63%にあたる事業所が初めての応募となっている

8 クラスAA及びAAA事業所における取組の効果

「横浜健康経営認証2025」クラスAA及びAAAの認証を受けた事業所において把握されている健康課題は、「血压、血糖、脂質いずれかの有所見者か、肥満者（BMI25以上）の割合が高い」「喫煙率が高い」「睡眠で十分な休養がとれていない者が多い」の順に多くなっています。

事業所の健康課題（複数回答）	事業所数	%
血压、血糖、脂質いずれかの有所見者か、肥満者の割合が高い	227	91.2%
喫煙率が高い	84	33.7%
睡眠で十分な休養がとれていない者が多い	58	23.3%
朝食の欠食率が高い	52	20.9%
健診受診率が低い	42	16.9%
運動習慣がない者が多い	37	14.9%
健診で要指導、要医療だが指導や診察を受けていない者がいる	27	10.8%
定期的に歯科健診を受診している割合が低い	21	8.4%
クラスAA及びAAA事業所数	249	100.0%

健康課題に対して取り組まれていることは、「バランスのよい食事や減塩の仕方等、実践に役立つ栄養の情報を表示・提供している」「職場内での体操や片足立ち、ストレッチなどを励行している」「勤務時間中に健診（事業所健診、特定健診）を受診できるようにしている」などが多くなっています。

項目	その項目の中で最も多く取り組まれていること（複数回答）	事業所数	%
食事	バランスのよい食事や減塩の仕方等、実践に役立つ栄養の情報を表示・提供している	148	59.4%
運動	職場内での体操や片足立ち、ストレッチなどを励行している	80	32.1%
健診・がん検診	勤務時間中に健診（事業所健診、特定健診）を受診できるようにしている	68	27.3%
休養・こころ	超過勤務（残業）を少なくする取組を実施している	51	20.5%
禁煙	産業医や産業保健師、健康保険組合等が行う禁煙相談の利用を勧めている	34	13.7%
歯・口腔	歯・口腔歯間ブラシやデンタルフロス等を使用した口腔ケアを推奨している	18	7.2%
クラスAA及びAAA事業所数		249	100.0%

これらの取組による従業員の変化としては、「従業員に身体的な変化があった」や「従業員の仕事に対するモチベーションが高くなった」などが多くなっています。

取組による従業員の変化（複数回答）	事業所数	%
取り組むことで従業員に身体的な変化があった	28	56.0%
取り組むことで従業員の仕事に対するモチベーションが高くなった	21	42.0%
体調不良・病気を理由とした休暇が減った	11	22.0%
取り組むことで社内のコミュニケーションがより良くなった	2	4.0%
その他※	6	12.0%
クラスAAA事業所数	50	100.0%

※その他として「定期的に健康イベントを開催することで、社員同士のコミュニケーションや意見交換につながった」等

取組の結果を振り返って評価を行っているため、クラスAAAの認証を受けた事業所においては、「運動習慣がない」や「喫煙率」の減少といった変化が表れています。

取組前後のデータの変化 (平均値が1.0ポイント以上改善した項目)	取組前平均値	取組後平均値	変化量ポイント	集計対象
運動習慣がない	59.7%	57.3%	2.4 減少	12
喫煙率	33.0%	31.5%	1.5 減少	32

※集計対象は、これらの健康課題に対する取組を行っており前後のデータが収集できているもの

＜横浜健康経営認証 2025＞ 認証事業所のご紹介 (50 音順)

※公表を希望されない事業所については掲載しておりません。

クラスA A A 50 事業所

■株式会社新井清太郎商店
■株式会社 石井商事
■有限会社 板津農園
■株式会社ウエルアップ
■株式会社 N T T データ M S E 本社
■株式会社大山組建材
■岡山建設株式会社
■株式会社 神奈川銀行
■公益財団法人神奈川県予防医学協会
■学校法人 神奈川大学
■河本開発工業株式会社
■川本工業株式会社
■共栄建機株式会社
■株式会社桐ヶ谷工業所
■株式会社グリーン
■工藤建設株式会社
■株式会社クレアス
■株式会社コウセイ
■有限会社相模通信システム
■三興電機株式会社
■C T C ファシリティーズ株式会社
■JFE テクノス株式会社
■昭和建設株式会社
■新興電設工業株式会社
■鈴幸商事株式会社
■株式会社スリーハイ
■第一コンクリート株式会社
■株式会社大成 E R C
■太平電機株式会社
■大洋建設株式会社
■戸田建設株式会社横浜支店
■トム通信工業株式会社
■株式会社 N A N O K O ラバー
■株式会社日建産業
■パーソルコミュニケーションサービス
株式会社

■株式会社ハリマビステム本社
■株式会社日立システムズ
エンジニアリングサービス
■株式会社ビット
■特別養護老人ホーム日野サザンポート
■ヒロセ電機株式会社
■丸忠建工株式会社
■宮内建設株式会社
■宮本土木株式会社
■社企画株式会社
■公益財団法人横浜企業経営支援財団
■横浜建設株式会社
■学校法人横浜商科大学
■ランドシステム株式会社
■株式会社リカバリータイムズ
■株式会社レゾナック横浜事業所

クラスA A 199 事業所

■アーサー株式会社
■earth&Y 合同会社
■アイ・シー・ティー株式会社
■株式会社アイシマ
■会津電業株式会社
■浅井建設株式会社
■株式会社 旭広告社
■アポロテック株式会社
■雨宮自動車工業株式会社
■阿波鋼業株式会社
■株式会社安藤建設
■株式会社 飯尾工業所
■株式会社イースタン・マックス
■生駒植木株式会社
■生駒造園土木株式会社
■石井造園株式会社
■株式会社 今井工務店
■美しが丘西整骨院
■株式会社栄広プロビジョン
■株式会社エイト
■有限会社 エーティーエス
■株式会社エコライト
■株式会社 E S T R E L L A
■恵比寿機工株式会社
■株式会社エフ・トレード
■株式会社オースズ
■株式会社オート電機 横浜営業所
■株式会社 オガワ
■株式会社オゾンヘルスケアラボラトリー
■株式会社 加藤機器製作所
■株式会社金沢シーサイド F M
■株式会社カメガヤ
■株式会社橘木
■京セラドキュメントソリューションズ株式会社
みなとみらいリサーチセンター
■株式会社クラスターメディカル

(続き) クラスA A 199 事業所

- | | | |
|---------------------|--------------------|--------------------|
| ■株式会社Grasol | ■SILVER CHORD 株式会社 | ■東洋水工株式会社 |
| ■株式会社 Cream Soda | ■株式会社 シンコー | ■トーケン機械工業株式会社 |
| ■クリエートメディック株式会社 | ■シンコースポーツ株式会社神奈川支店 | ■合同会社 どりいむ |
| ■社会福祉法人朋友会グループホーム朋友 | ■株式会社シンシア | ■株式会社直紀建設 |
| ■グローバルエンジニア株式会社 | ■有限会社新生産業 | ■錦海運建設株式会社 |
| ■株式会社クロスエンジ | ■株式会社新明工事 | ■日栄建設株式会社 |
| ■株式会社KNコーポレーション | ■杉山興業株式会社 | ■日機道路株式会社 |
| ■京王建設横浜株式会社 | ■鈴江コーポレーション株式会社 | ■日昭ハイテック株式会社 |
| ■社会福祉法人朋友会軽費老人ホーム睦荘 | ■須藤工業株式会社 | ■株式会社日伸交通 |
| ■株式会社 京浜マリンエンジニアリング | ■株式会社成蹊建設 | ■日成工事株式会社 |
| ■株式会社ケーウェイズ | ■株式会社誠昌建設 | ■日本保安工業株式会社 |
| ■株式会社KSエンジニアリング | ■清進電設株式会社 | ■日本濾水機工業株式会社 |
| ■株式会社 建翔 | ■株式会社 青武組 | ■株式会社 ネダテ建商 |
| ■株式会社 建成社 | ■聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 | ■株式会社ハーツエイコー |
| ■株式会社 | ■株式会社セレスポ横浜支店 | ■ハートケアいずみ訪問看護事業所 |
| コア・エレクトロニックシステム | ■創栄青葉有限会社 | ■パイオリックス株式会社 |
| ■紘永工業株式会社 | ■株式会社相鉄アーバンクリエイツ | ■株式会社ハイマックス |
| ■GO社会保険労務士法人 | ■株式会社相鉄ビルマネジメント | ■有限会社 一空調 |
| ■紅陽建設株式会社 | ■相武造園土木株式会社 | ■株式会社ハマヤシステム |
| ■光洋自動機株式会社 | ■株式会社ソフテム | ■有限会社 榛名工業 |
| ■幸和建設工業株式会社 | ■社会福祉法人そよかぜの丘 | ■株式会社 パレルポッド |
| ■興和工業株式会社 | ■大光ルート産業株式会社 | ■株式会社バンガード |
| ■紅和産業株式会社 | ■株式会社大三ロジック本社営業所 | ■特別養護老人ホームひざり園 |
| ■小雀建設株式会社 | ■大生建設株式会社 | ■株式会社ビプロス |
| ■佐竹工業株式会社 | ■株式会社ダイドウトランスブラネット | ■株式会社ファミリア引越サービス |
| ■株式会社三技協 | ■株式会社タウンニュース社 | ■フォルム株式会社 |
| ■株式会社 三恵商会 | ■たにもと建設株式会社 | ■株式会社フクイカイ |
| ■サン建設株式会社 | ■千代田建設株式会社 | ■フジテックス株式会社 |
| ■サンコーエンジニアリング株式会社 | ■通信設備株式会社 | ■株式会社プライムメイト |
| ■三新工業株式会社 | ■株式会社 通信設備エンジニアリング | ■古河テクノリサーチ株式会社 |
| ■三徳衡産株式会社 | ■株式会社 筒見工務店 | ■フレンジ鶴ヶ峰 |
| ■有限会社 山王 | ■株式会社鶴見建装 | ■株式会社 プロジェクトガーディアン |
| ■株式会社山王 | ■株式会社 鶴見サービス | ■株式会社 ベガサス |
| ■株式会社システムステーション | ■特定非営利活動法人でっかいそら | ■株式会社 ベガソス・エレクトラ |
| ■志馬建設株式会社 | ■東亜建設工業株式会社横浜支店 | ■株式会社 ポンパドウル |
| ■株式会社秀栄 | ■株式会社東栄測量コンサルタント | ■株式会社 ポンパドウルアソシエ |
| ■株式会社 JYU-KEN | ■東急グリーンシステム株式会社 | ■馬淵建設株式会社 |
| ■湘南企業株式会社 | ■株式会社東邦製作所 | ■株式会社丸産技研 |

(続き) クラスA A 199 事業所

- 株式会社 マルハチ
- 株式会社三木組
- 三沢電機株式会社
- 三菱倉庫株式会社 横浜支店
- 三菱倉庫株式会社 横浜支店厚木営業所
- 三菱倉庫株式会社 横浜支店
川崎営業所座間倉庫
- 三菱倉庫株式会社 横浜支店
川崎営業所新川崎事務所
- 三菱倉庫株式会社 横浜支店川崎
営業所東扇島センター・YLP センター
- 三菱倉庫株式会社 横浜支店港運事業課
- 三菱倉庫株式会社
横浜支店大黒第一営業所 A 号倉庫
- 三菱倉庫株式会社
横浜支店大黒第一営業所 D 号倉庫
- 三菱倉庫株式会社
横浜支店大黒第二営業所 B 号倉庫
- 三菱倉庫株式会社
横浜支店大黒第二営業所 C 号倉庫
- 三菱倉庫株式会社
横浜支店大黒第三営業所大黒町倉庫 1 F
- 三菱倉庫株式会社
横浜支店大黒第三営業所大黒町倉庫 3 F
- 三菱倉庫株式会社
横浜支店大黒第三営業所流通センター
- 三菱倉庫株式会社
横浜支店南本牧営業所出田町倉庫
- 三菱倉庫株式会社
横浜支店南本牧営業所配送センター
- 三菱倉庫株式会社
横浜支店南本牧営業所本牧倉庫
- 三菱倉庫株式会社
南横浜支店本牧第一営業所
- 三菱倉庫株式会社
横浜支店南本牧第二営業所
- ミネ工業株式会社
- 森田建設株式会社

- 株式会社 森野帆布船具工業所
- 八洲学園大学
- 有限会社矢部設備
- 株式会社 山口文雄商店
- ユニオンエンジニアリング株式会社
- 横浜植木株式会社
- 株式会社横浜コンサルティングセンター
- 横浜信用金庫
- 医療法人社団新東京石心会
横浜石心会病院
- 横浜 SENJO 株式会社
- 医療法人社団善仁会 横浜第一病院
- 横浜鉄構株式会社
- 株式会社横浜電算
- 株式会社 横浜ベイホテル東急
- 株式会社ライフ・コア横浜
- 株式会社 ラブラス
- 社会福祉法人睦愛会 緑園都市睦愛園
- レヴェックスコンサルタント株式会社
- 株式会社ワイ・エム・エー横浜営業所
- 株式会社ワイドアルミ
- 一般財団法人若葉台まちづくりセンター
- 株式会社ワカバヤシ
- 株式会社 渡辺管工業

クラスA 160 事業所

- 株式会社アードット
- AKAIRO 株式会社
- 株式会社アクティブコレクション
- 曙工業株式会社
- 株式会社アスール
- 株式会社池田興商
- 株式会社伊藤園 新横浜支店
- 株式会社伊藤園 横浜泉支店
- 株式会社伊藤園 横浜港北支店
- 株式会社伊藤園 横浜緑支店
- 有限会社井定工務店
- 特定非営利活動法人 innocent
- 今井建設株式会社
- 株式会社岩本工業
- 岩谷建設株式会社
- インバースネット株式会社
- 株式会社宇伍
- 宇佐美不動産株式会社
- 株式会社内田ポルト
- 株式会社エスオー
- 有限会社エスク
- 株式会社 N・P グラフィック
- 株式会社荏原精密
- MCM のめぐみ株式会社
- 株式会社大川印刷
- 株式会社大林組神奈川東工事事務所
- 株式会社大林組横浜工事事務所
- 株式会社お元気福祉サービス
- 尾鈴電気株式会社
- 小原木材株式会社
- 岳南建興株式会社
- 鹿島建設株式会社 横浜支店
- 株式会社 C U Z M A T
- 加藤電機株式会社
- 加藤木材株式会社
- 神奈川美研工業株式会社
- 公益社団法人神奈川法学会
- 株式会社関東警備システム

(続き) クラスA 160 事業所

- 株式会社キュアトライフル
- 共栄ライン株式会社
- 協同組合元町エスエス会
- 共和興業株式会社
- 株式会社キョーエーメック
- 金港船舶作業株式会社
- 株式会社金成
- 熊澤海運株式会社
- 株式会社ケーエムシーコーポレーション
- 株式会社建幸 上大岡営業所
- 建築工房木ースタイル株式会社
不動産部「みなとまち不動産」
- 興信工業株式会社
- 株式会社興友社
- 株式会社コスモ
- 株式会社 コスモ測量設計
- 小松ウォール工業株式会社
横浜サービスセンター
- 小松ウォール工業株式会社横浜支店
- 小松ウォール工業株式会社横浜第一支店
- さかいりハ訪問看護ステーション・横浜
- 株式会社 SANINDUSTRY
- 株式会社サンテクノス関東事業所
- 株式会社シーエーエル
- 株式会社ジェイ・アイ設計事務所
- 株式会社SHIDA.
- Japan Logistics Partners 株式会社
- 株式会社 J A F T
- 就労継続支援 B 型事業所 パステル
- 首都高トールサービス神奈川株式会社
- 医療法人順正会
- 株式会社昌栄
- 特別養護老人ホームしょうじゅの里小野
- 伸光金属工業株式会社
- 鈴木鷹土木 株式会社
- 株式会社スポーツオアシス上大岡店
- 株式会社スマイルワン
- 住友生命保険相互会社 横浜支社
- 相鉄ビジネスサービス株式会社
- 第一運輸株式会社
- 株式会社大勝
- 大洋石油株式会社
- 立神工業株式会社
- 合同会社 田中電気土木
- 有限会社田村
- 有限会社千田建設
- 株式会社ティール・エス・ジー
- 株式会社テクノクリエイト
- 有限会社 天神薬局
- 東京ガスエコモ株式会社
- 東邦電設株式会社
- 東洋熱工業株式会社
- トータルリスクサポート株式会社
- 株式会社トップライズ横浜営業所
- 株式会社トライブランニング
- 内藤たみ株式会社
- 中川印刷株式会社
- 株式会社 中川製作所神奈川
- 株式会社中原建設
- 有限会社中村モーターサービス
- 西田装美株式会社
- 日栄興業株式会社
- 日欧事務機株式会社横浜支店
- 日章電気工事株式会社
- 株式会社ニッセイ創美
- 医療法人社団優喜会
新田歯科クリニック
- 株式会社日本油剤研究所
- 株式会社 野口自動車
- 株式会社 羽咋工業
- 有限会社 ハマ印刷
- 林電気株式会社
- 有限会社原宿木材
- B X T O S H O株式会社
- 株式会社ビオン工業
- 有限会社ビジュアルワークス
- 株式会社福岡造園
- 富士造園株式会社
- 株式会社フリップナビ
- フレンズ鶴見栄町
- フレンズ鶴見本町
- フレンズ弥生台
- フレンズ緑園
- 株式会社フロンティアハウス
- 株式会社文教コーポレーション
- 介護老人保健施設ベルディーナ
- 宗教法人 北天院
- 堀江造園株式会社
- 株式会社本田工務店
- 有限会社 本牧運輸
- 丸一防災株式会社
- 株式会社マルタケ
- 株式会社三笠
- 株式会社ミカワ精機
- 株式会社南組
- 名鉄観光サービス株式会社 横浜支店
- 株式会社 MEGASYSTEM
- 目黒建設株式会社
- 株式会社森田工務店
- 有限会社森田製作所
- 森元工業株式会社
- 株式会社モリモリ
みんなの訪問看護リハビリステーション
- 株式会社モンズ
- 株式会社山本重量
- 株式会社ヤマヤ土建
- 株式会社 横浜アーチスト
- 株式会社
横浜エージェンシー&コミュニケーションズ
- 横浜機器販売株式会社
- 横浜高周波工業株式会社
- 一般社団法人横浜港振興協会
- 横浜交通開発株式会社

(続き) クラスA 160 事業所

- 横浜市上永谷駅前
地域ケアプラザ・コミュニティハウス
- 横浜市芹が谷地域ケアプラザ
- 公益財団法人
横浜市男女共同参画推進協会
- 横浜ビルドシェア株式会社
- 有限会社横浜マネジメントサービス
- 横浜マリノス株式会社
- 株式会社米川製作所
- RIZE 株式会社
- リーフ薬局上白根
- 株式会社 陸送機構 横浜営業所
- 株式会社 わかば
- 株式会社渡辺組

禁煙支援・受動喫煙防止対策事業について

1 屋外の受動喫煙対策の強化について

本市では、受動喫煙がないまち・きれいなまちを目指し、令和7年度から屋外の受動喫煙対策を強化します。関係部署が連携しながら以下の取組を進めます。

(取組内容)

◆公園等の禁煙化（みどり環境局ほか）

令和7年4月から市内の公園を禁煙化するとともに、地域の広場など屋外の市民利用施設も同様に禁煙化します。

◆分煙環境整備（資源循環局）

民間喫煙所の設置費助成制度を創設するとともに、煙の流出を防ぐため一部の公設喫煙所を密閉化します。

◆禁煙・受動喫煙防止に向けた広報・啓発（健康福祉局）

駅周辺で喫煙者へ声掛けするパトロールを強化するほか、携帯電話の位置情報を活用した喫煙者へのダイレクト広報、公共交通サイネージ、SNSなどを活用し、広報・啓発を拡充します。

◆喫煙禁止地区の新たな指定（資源循環局）

地域の要望を踏まえ、喫煙禁止地区を新たに指定します。

2 令和6年度に実施した新たな取組

(1) 禁煙支援・喫煙防止

事業所向けに禁煙支援アプリなどを活用した禁煙チャレンジの支援を開始しました。また、二十歳の市民を祝うつどいにおいて啓発動画を放映するなど、禁煙支援や喫煙防止の取組を進めました。

(2) 受動喫煙防止

ポイ捨て防止対策を所管する資源循環局と共同で、駅周辺での啓発パトロールを開始しました。また、西区の小学生を対象として、受動喫煙防止を訴えるポスターコンクールを開催し、受賞作品を活用した横断幕を路上喫煙者が多い場所で掲示するなど、喫煙者への啓発活動を行いました。

【ポスターコンクール受賞作品】



低学年部門 最優秀賞



高学年部門 最優秀賞

3 継続中の取組

(1) 禁煙支援・喫煙防止

ア 事業所を通じた禁煙チャレンジ支援

希望する横浜健康経営認証事業所を対象に講師を派遣し、従業員が禁煙に取り組むうえでの事業所の課題に対するアドバイスを行いました。

○令和6年度：参加事業所数 6事業所

イ 身近な場所で禁煙相談できる環境づくり

区役所等でのイベントの機会を活用して、たばこの害について喫煙者へ啓発するとともに、必要な方への禁煙相談を行いました。また、禁煙外来や禁煙支援薬局をホームページ等で掲載するなど、身近な場所で禁煙相談が可能であることを周知しました。

ウ 20歳未満への喫煙防止教育

教育委員会と共同で作成した喫煙防止啓発リーフレットを市立高校に配布しました。また、大学に対し、禁煙・受動喫煙防止のチラシやポスターを配布しました。

(2) 受動喫煙に関する通報対応

市民から寄せられる通報に基づき、屋内の受動喫煙防止対策に関する法令違反の改善を指導するとともに、屋外に設置された灰皿についても、設置者に対し、受動喫煙が生じないよう対策を依頼しました。

また、路上喫煙が深刻なスポットにおいて定期的な街頭啓発や看板掲出による注意喚起を行い、喫煙時の配慮を呼び掛けました。

○令和5年度 通報対応件数：513件

○令和6年度 通報対応件数：494件（令和7年2月末時点）



啓発看板

(3) 受動喫煙防止対策に関する周知啓発

ア 市民向けの周知啓発

地下鉄車内ビジョンや駅のデジタルサイネージで受動喫煙防止をPRしました。また、YouTube 広告、インターネットバナー広告、市 SNS を使った広報を実施しました。広報では新たにスマートフォン等の位置情報を活用したダイレクト広報を進めるなど PR 手法の改善にも取り組みました。

○令和6年度

- ・横浜市営地下鉄車内ビジョン
- ・駅デジタルサイネージ
- ・YouTube 広告、インターネットバナー広告
- ・市 SNS を使った広報



啓発動画サムネイル

イ 飲食店向けの周知啓発

各区で実施される食品衛生責任者講習会において、屋内禁煙のルールなど受動喫煙防止対策について説明しました。

○令和5年度：5,209人 80回 ○令和6年度：6,000人 90回（見込み）

令和 6 年度 広報・プロモーションの取組について

1 第 3 期健康横浜 2 1 における広報・プロモーションについて

第 3 期健康横浜 2 1 では、主要な健康課題の改善に向け、市民の意識や行動の変化が進むよう、これまで以上に力を入れ、ターゲットを明確にしたプロモーションを推進しています。

令和 6 年度は、特に、行政からの情報が伝わりにくい 20 から 40 歳代の働き・子育て世代の市民をターゲットとした情報発信に取り組みました。

2 令和 6 年度の広報・プロモーションの実施報告

(1) 「Yokohama Healthy Journey！健康クイズ！」の実施

ア 目的・企画意図

- ・第 3 期健康横浜 2 1 の認知向上
- ・健康に関する知識の定着
- ・仕事や子育てで忙しく自信の健康に意識を向けにくい方でも気軽に取り組めること

イ 実施期間

令和 6 年 11 月 5 日から 12 月 1 日まで

ウ 実施内容

特設サイト上で「第 3 期健康横浜 2 1」で取り扱う健康に関する動画を毎週発信し、動画の内容がヒントとなるクイズを毎週末出題します。

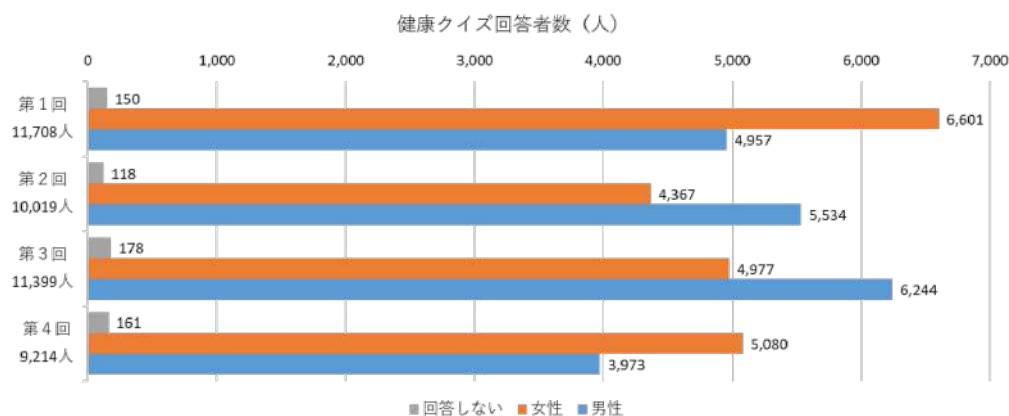
4 週にわたって異なるテーマを取り扱い、各週のクイズに全問正解した方と、4 週間通じてクイズに取り組んだ方を対象にデジタルギフトをプレゼントします。

エ 広報手段

- ・SNS、市営地下鉄車内ディスプレイ、横浜駅構内デジタルサイネージ等への広告掲出
- ・市公式 SNS や子育て支援アプリ「パマトコ」等での発信
- ・よこはまウォーキングポイント登録者へのメールマガジン
- ・よこはま企業健康マガジン 等

オ 実施結果

各回の回答者数は約 10,000 人（下図参照）



裏面あり

(2) 健康横浜 21 公式 Instagram アカウントの運用

令和 6 年 11 月から、健康横浜 21 の公式 Instagram アカウントを開設し、運用しています。

○主な投稿内容

- ・健康応援部長からの豆知識・アドバイス
信頼のおける健康情報や健康課題に対する望ましい健康行動を紹介する
- ・ケンヨコ林田さんのメタボリックな日常
少し不健康そうなキャラクターの生活の中の気付きから
生活の中の気付きから健康を意識するきっかけを提供する
- ・ケンヨコ 21 NEWS
イベントやその他事業紹介



@KENKOYOKOHAMA21

《参考》アカウントイメージ



健康応援部長



健康推進部 林田さん

糖尿病等の重症化予防事業における市民向けリーフレットを活用した ダイレクトメールの実施状況報告

1 趣旨

糖尿病の重症化を予防するには、発症初期段階を含めて病状に応じた適切な時期に、必要な治療、食事・運動・薬等に関する保健指導につながるすることが大切です。

令和2年度に、患者自身の自発的な受診・受援行動を促すとともに、関係機関の連携推進にもつながる市民向けリーフレットを作成しました。

市民向けリーフレットの配布状況と効果測定について報告します。

2 市民向けリーフレットを活用したダイレクトメールの実施について

区福祉保健センターでは、糖尿病の重症化を予防するために、糖尿病についての啓発リーフレットや適切な食・生活習慣等の改善を促すための個別相談、教室等の案内チラシをダイレクトメールで送付しています。

令和6年度もダイレクトメールに、適切な時期の適切な診療科(内科、糖尿病内科、眼科、歯科等)への受診及び受診中断防止を啓発する市民向けリーフレットを同封し、送付しました。

(1) ダイレクトメール対象者

対象者条件	下記、①～④の全て該当する人
	①令和5年度特定健診実施かつ健診時年齢 39～73 歳
	②ヘモグロビン A1c 6.4～6.9
	③特定保健指導非該当者
	④抽出時：令和6年度6月21日で国民健康保険加入者 (糖尿病又は糖尿病予備群の人、HbA1c 7%未満をメインターゲットとして、1型糖尿病は対象外する)

(2) ダイレクトメールの発送スケジュール

日 程	事 業 の 概 要
6 月 6 月 21 日 (金)	ダイレクトメール対象者の抽出
6 月 6 月 24 日 (月)	対象者リストと宛名ラベルの確認後、18 区に宛名ラベルを送付
6 月～9 月末	各区でダイレクトメール発送

(3) 市民向けリーフレットの医療機関への発送状況

配 布 先	配布数
横浜市歯科医師会 (会員 1,700 人×4 枚)	6,800
一般社団法人 横浜市薬剤師会	10,200
特定健診実施医療機関に郵送分 (1,186 医療機関×5 枚)	5,930
眼科医療機関に郵送分 (225 医療機関×5 枚)	1,125
区福祉保健課、健康福祉局健康推進課	5,245
合 計	29,300

(4) ダイレクトメールの発送状況（市民向けリーフレットを同封）

区名	発送等の状況		個別相談・教室等の申込状況		ダイレクトメールの送付において工夫したこと
	発送数	返戻数	申込数	問合せ数	
鶴見	352	0	11	0	【封筒の工夫】 ・赤字で作成したシールや公式キャラクターのシールを貼付し、目に留まりやすくした。 ・「あなたの健康をサポートする無料講座のご案内です」と標記し、開封率アップを目指した。
神奈川	314	0	27	0	
西	105	0	5	0	
中	191	0	2	3	
南	312	0	11	2	
港南	269	0	9	12	【チラシの工夫】 ・二次元コードを入れ、申込みの利便性を図った。 ・参加者の関心が高い内容（体組成計、血圧、ベジチェックなど）を実施し、チラシに写真や絵を入れて分かりやすくした。
保土ヶ谷	254	0	12	1	
旭	347	1	16	16	
磯子	239	0	12	14	
金沢	305	0	6	8	
港北	324	1	5	0	【送付文の工夫】 ・若い年代が参加しやすいように、年代別に文面を変える工夫をした。 ・案内文をシンプルにし、主旨がわかるようにした。
緑	187	0	2	6	
青葉	268	0	14	14	
都筑	193	0	7	0	
戸塚	398	0	14	12	
栄	139	0	1	0	【その他の工夫】 ・前年度の参加者の感想を載せて、効果をアピール。 ・個別支援と集団支援の両方の案内を行い、参加者が選択しやすいように工夫。
泉	238	0	6	0	
瀬谷	157	0	2	0	
合計	4592	2	162	88	

担当：健康福祉局健康推進課 宮本、山田、秋田

令和5年度「疾病の重症化予防事業」の事業効果分析結果について

1 趣旨

令和5年度の事業実施報告をもとに、横浜市衛生研究所の協力により事業効果について検証しました。得られた知見についてご報告します。

2 分析の概要

令和5年度に、区福祉保健センターで実施した「疾病の重症化予防事業」について、事業に参加する前と後の状態を比較分析しました。分析は、参加者本人が記載した振り返りシートのデータを用いました。

3 対象者及び支援方法について

事業参加者：主に糖尿病または高血糖の者（広報等で募集）、健診結果が一定基準に該当する者（※国保特定健診受診者のうちア.健診時年齢 39～73 歳 イ. HbA1c 6.4～6.9 ウ. 特定保健指導非該当者 のすべてを満たすもの）、主治医からの紹介等。

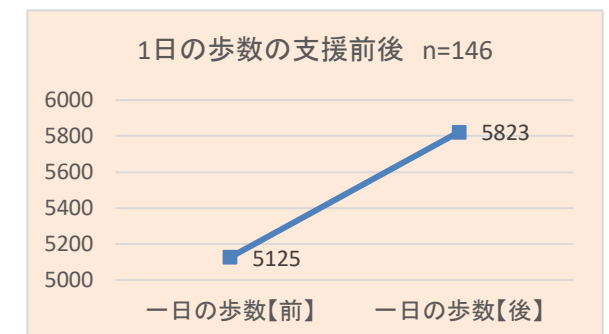
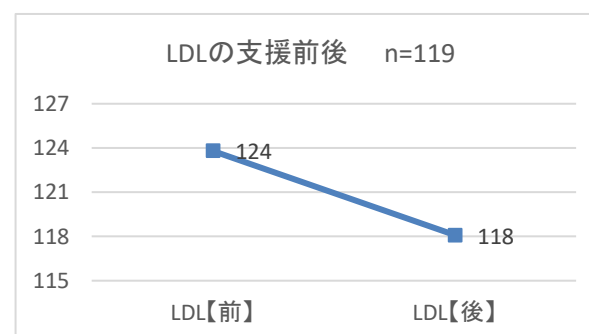
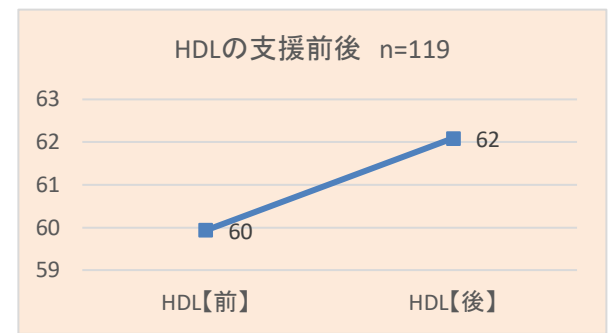
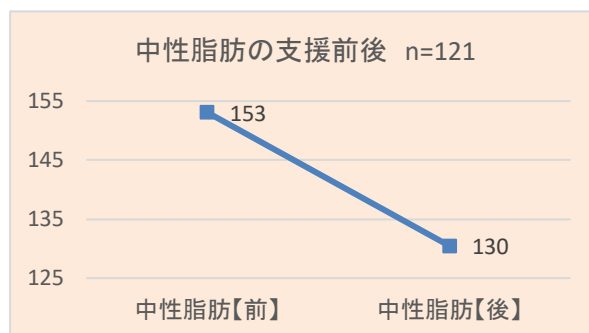
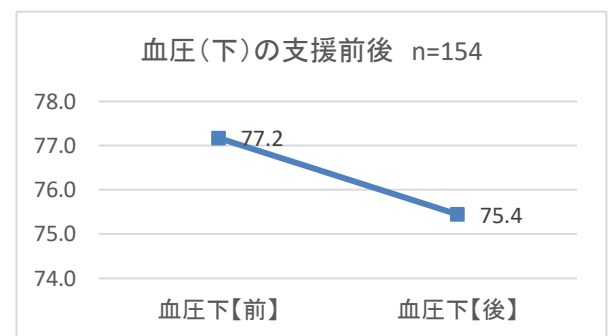
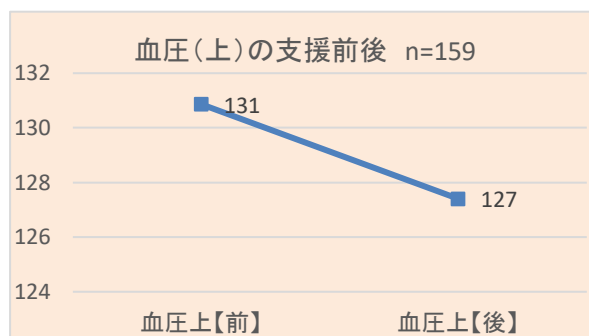
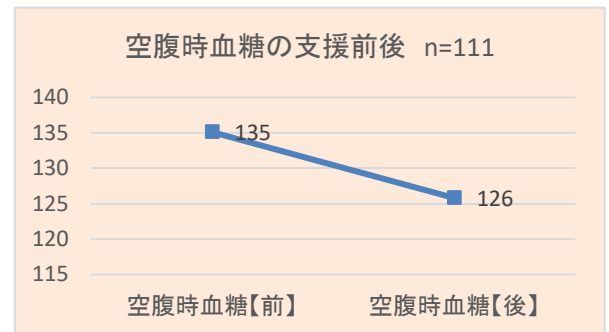
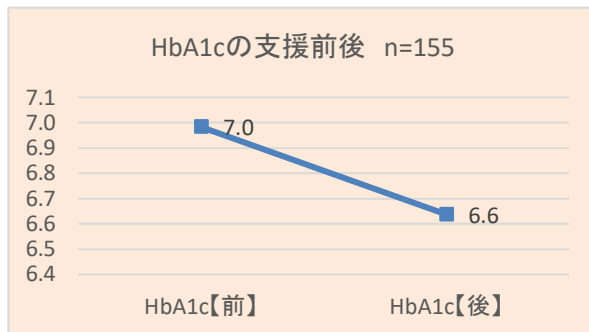
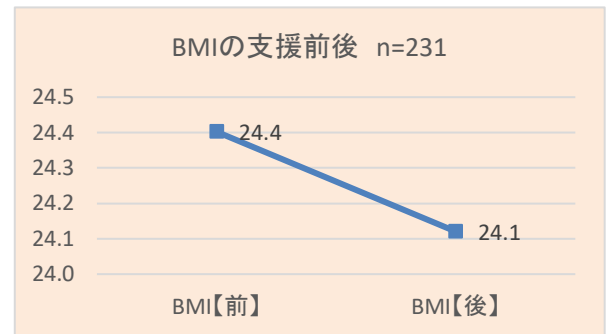
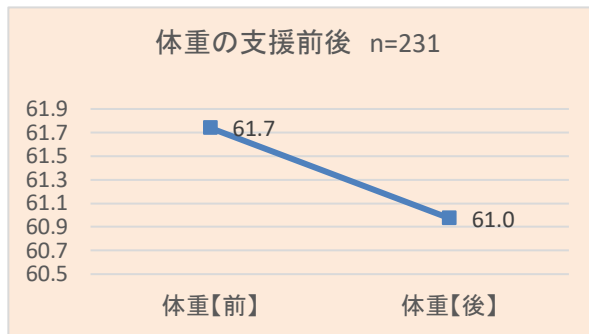
個別支援：1回につき30分～1時間の面接（3～6か月の間）において、対象者の状況を把握し、検査データ・家族歴・生活習慣等を踏まえ、正しい知識の普及や生活指導を複数回実施する。

集団支援：2～3回1コースの講座（3か月程度）において、身体測定、健診結果の説明、食生活や運動の講話・実技、グループワークを実施する。

4 支援前後における意識・行動・数値の変化について

参加者数／分析項目	支援前後評価 (別紙あり)	手法別前後評価	
		個別支援	集団支援
参加人数	357	148	209
(内訳)男性	124	65	59
(内訳)女性	233	83	150
知識・意識等			
主観的健康観	有意差あり	有意差あり	
行動	有意差あり		
知識	有意差あり	有意差あり	有意差あり
行動変容(運動)	有意差あり	有意差あり	有意差あり
行動変容(食事習慣)	有意差あり		
行動変容への自信	有意差あり		
服薬	有意差あり		
数値変化			
体重	有意差あり	有意差あり	
BMI	有意差あり	有意差あり	
HbA1c	有意差あり	有意差あり	
血圧(上)	有意差あり		
血圧(下)			
空腹時血糖	有意差あり	有意差あり	
中性脂肪	有意差あり	有意差あり	
HDL	有意差あり	有意差あり	
LDL			
一日の歩数	有意差あり	有意差あり	有意差あり

(別紙) 支援前後における数値の変化について 有意な変化があったものを色付きとしています。



担当：健康福祉局健康推進課 宮本、山田、秋田

よこはまウォーキングポイント事業について

1 アプリのリニューアル

(1) 概要

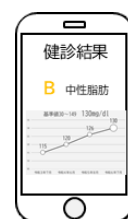
次期事業（8年度～）の実施にあたって、現行アプリの後継として総合的な健康アプリの導入を検討しています。

新アプリは、ウォーキングにとどまらず、健康無関心層に健康活動のきっかけを提供し、健康状態の見える化・将来予測により、生活習慣改善や健診受診等、行動変容の促進を目指します。

8年2月に新アプリをリリースし、現行アプリと2カ月間並行稼働して、参加者の移行促進を行います。

(2) 新アプリの機能

- ・マイナポータル連携で取得した健診やがん検診等の結果について、経年比較や同じ属性（年代・性別等）の他者の平均値との比較がわかりやすく表示される。
- ・健診結果等に基づいて、将来の健康リスクシミュレーションや、パーソナライズされた健康記事が配信される。
- ・歩数ランキングやウォーキングコース等のコンテンツも楽しめ、歩数等に応じたポイントを貯めて、抽選でデジタルギフト等が当たる。
- ・特定健診・がん検診等の受診勧奨について、年代・性別など利用者の属性により受信者を限定してプッシュ通知される。



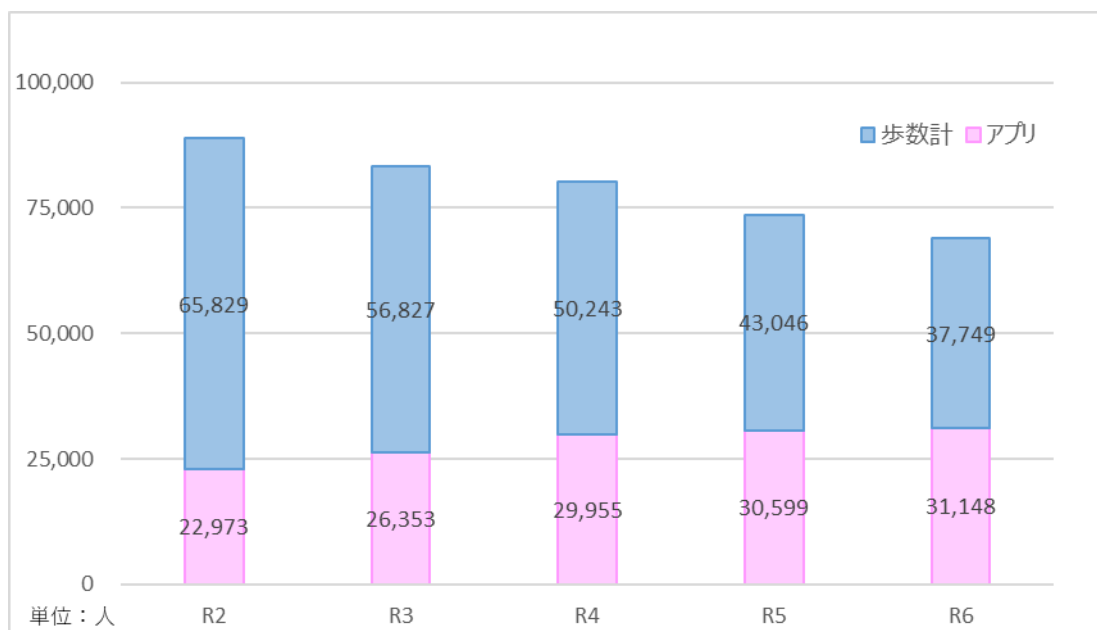
2 事業実績

(1) 参加登録者数（6年12月末時点）

377,663人（歩数計 313,353人、アプリ 120,259人） ※併用参加者 55,949人を含む
うち、アクティブユーザー数※：歩数計 37,749人、アプリ 31,148人

※直近3か月間に1回以上歩数送信をした方

（参考）アクティブユーザー数の推移



※各年度末時点（6年度は12月末時点）

(2) 事業所の参加状況（6年12月末時点）

- ・登録事業所数：1,290 事業所
- ・参加従業員数：50,512 人（歩数計 43,958 人、アプリ 6,554 人）

(3) リーダー設置状況（6年12月末時点）

826 か所（他に、ローソン、ミニストップの「Loppi」端末でも送信可）

3 6年度の主な取組実績

(1) ENJOY WALKING キャンペーン

歩きやすい時季に楽しみながらウォーキングに取り組んでもらえるよう、「ENJOY WALKING キャンペーン」を9月1日から12月31日まで実施しました。

<主な内容>

キャンペーン名	参加実績
チーム対抗戦	<u>351 チーム 996 人</u> 参加。参加者平均歩数： <u>10,468 歩</u>
特別ミッション	達成者（1日平均8,000歩）： <u>1,566 人</u>
歩数計アプリ フォトコンテスト	①「横浜中華街の魅力発見」投稿数 <u>103 件</u> ②「横浜の空」投稿数 <u>742 件</u> ③「横浜の秋」投稿数 <u>880 件</u>
「参加者の声」募集	アプリ 85 件、歩数計 12 件の応募⇒20 件 HP 掲載

(2) 個人表彰

5年度に目標歩数等を達成した方を表彰しました。

表彰対象者：8,285 人

(3) イベントへの出展

よこはまウォーキングポイント事業PRのため、イベントにブース出展を行いました。

<出展イベント>

日程	場所	イベント名
10月14日（月祝）	新横浜公園	スポーツ・レクリエーションフェスティバル
10月20日（日）	綱島商店街	つなしまオータムフェスティバル
12月1日（日）	戸部公園～ 臨港パーク	西区ハマのウォーキングフェスティバル
3月20日（木祝）	横浜シンフォ ステージ	よこはまシティウォーク&ウェルネスフェス

令和6年度「ヒートショック予防」啓発事業における取組報告について

1 趣旨

横浜市民の主要な健康課題の一つである、高齢期の不慮の事故による死亡率の減少を目指し、その大きな要因と考えられるヒートショックを予防するため、ポスター掲示及びチラシの配布による普及啓発を行いました。今年度の取組内容を報告します。

2 事業目的（第3期健康横浜21市民の行動目標）

「ヒートショック」という言葉の認知度を上げ、予防方法を知り、実施する市民を増やします。

3 令和6年度取組内容

(1) ポスター掲示（掲示依頼期間：11月～3月）

11月以降、ヒートショック予防に関する啓発ポスターをメインターゲットである65歳以上の方が集まる場所（医療機関、薬局、図書館、地域の施設等）に、健康福祉局健康推進課及び各区福祉保健課から掲示を依頼しました。

場所	施設数	掲示依頼枚数
区役所内	18	54
区管轄随所（スーパー等）	180	180
医療機関（配布協力：横浜市医師会）	2,479	2,477
薬局（配布協力：横浜市薬剤師会）	1,050	1,020
図書館	18	36
地域ケアプラザ	145	290
合計	3,890	4,057

(2) チラシ配布（区からの要求枚数含む）

ヒートショック予防に関する啓発チラシ（ポスターと同デザイン）を全保健活動推進員、また各区のイベントや実施事業等で市民に配付しました。

各区からの詳細な実績報告（場所、枚数）については、令和7年4月上旬を予定しています。

	配布枚数
区福祉保健課・健康推進課	12505

（担当）健康福祉局健康推進課

宮本、秋田

電話 045-671-2454 FAX 045-663-4469

E-mail kf-kenkouyokohama@city.yokohama.lg.jp

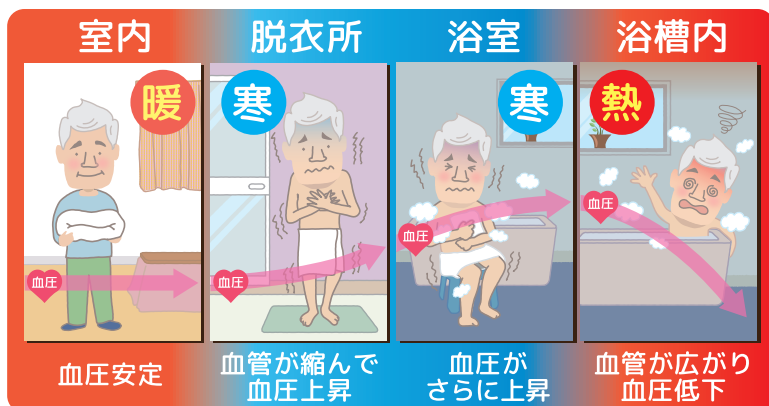
あなたのお風呂の入り方は大丈夫？

防ごう！入浴時のヒートショック

ヒートショックとは…急な温度変化で
血圧が変動し、身体がダメージを
受けること。脳卒中や心筋梗塞等の原因
になる場合があります。



横浜市は多い！
冬場におこる高齢者の
入浴事故！



POINT
1



湯はり時に
浴室を暖める

POINT
2



脱衣室も
暖めておく

POINT
3



湯温設定は
41度以下に

POINT
4



入浴時、家族に
一言かける

からだに優しい！
お風呂の入り方

POINT
5



入浴前に
水分を摂る

POINT
6



かけ湯を
してから入る

POINT
7



お湯に浸かるのは
10分以内

特に注意！ 血圧高めの方
普段からの血圧管理が大事！



+POINT おうちのヒートショック対策



断熱性能の高い窓

あなたのおうちの
あちこちに
「寒さのわな」が…!?



よこはま健康・省エネ住宅
推進コンソーシアムHP

+POINT



トイレ・廊下・玄関を暖める

